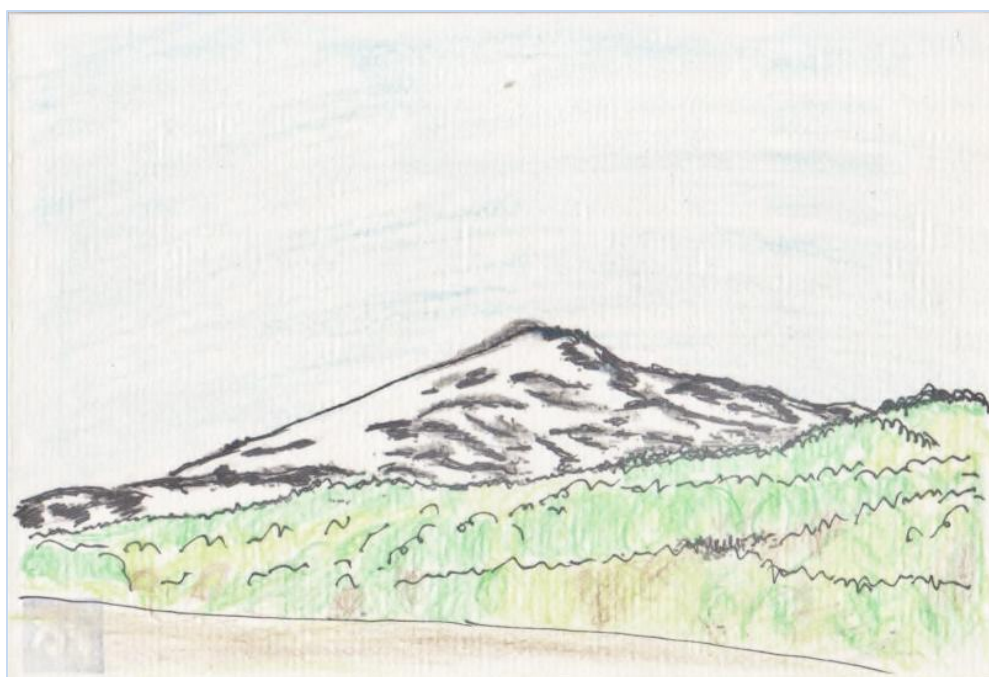


あかいら

No.343



2017. 6

岩手県勤労者山岳連盟



盛岡山友会



あかげら

6月号

も く じ

-
- 01 縦走路「交差点と出会い」 萩谷 義久
02 今後の日程（事務局）
-
- 03 今後の山行計画
-
- 07 運営委員会報告
08 事務局から
09 県連報告
11 専門部報告
●山行管理委員会 ●教育遭対部 ●会報部
13 行ってきました！
-
- ▲山行報告
15 毛無森 小田 春美
17 同期山行・諏訪沢森他2山 齋藤 良三
-
- 19 ある日ある時 “<イライラそれとも怒る？>” 淡 望天
21 交流の広場



交差点と出会い

No. 441 萩谷義久

北アルプス開拓の先駆者で現在の長野県大町市の百瀬慎太郎さんがいます。この方の「山を想えば人恋し、人を想えば山恋し」という言葉が好きです。

この言葉のとの出会いは今から34年前自分が長野県にある学校で山登りのクラブに所属し登山と向き合い始めた頃です。夏合宿を前に針ノ木雪渓で雪上訓練を行いながら針ノ木峠を目指す途中で大沢小屋を訪れた時のことです。そのときはあまり気に留めなかったのですが、年数を経て一人でも山に登るようになってから特に感じ入るようになりました。

学生時代はパーティーで登ることが多かったのですが、社会人になってからは一人で登ることが多くなりました。夏の休暇などに上高地を一人で訪れ横尾にテントを張って奥穂高岳や燕岳などに登ったりしました。単独行なので会話は殆どありません。一般登山道なので周りに人はいますが、基本一人です。そんな山行が数日続くと街でのなにげない会話や友達とのバカ話しだったりがおもしろくなったりします。それが下山し人の中に戻ると山の中にいる自分がいいなと想ったりするようになりました。

学生時分のクラブの登り方は縦走形式が主でした。北アルプス、南アルプス、中央アルプス、八ヶ岳などの稜線を徘徊していました。人数がいるのでこちらの登り口からあちらに下山バスやタクシー利用での移動だったように記憶しています。

いくつかの登山道が頂や峠で交差する縦走路。そんな交差点のような場所のひとつが針ノ木峠です。古くは富山県から長野県へ通ずる道として戦国時代の武将佐々成政が雪の峠を超えた逸話が残ります。針ノ木峠に立った時、今の時代(30数年前ですが)にこの装備での雪上訓練で歩行もおぼつかない自分達がいるのに400年前油紙とわらぐつや蓑などの支度で冬の峠を越えた人達がいたんだと思うと感慨深いものがあり、時を経てその人達と出会えたような気持ちになりました。

「縦走路」で頭に浮かんだのが百瀬慎太郎の言葉と針ノ木峠でした。いろんなルートが交差する道。出会いが交差する道。そんなイメージがあります。

どっぷり山に浸かっていたのはずっと昔ですが、これからも少しづつ登り続けたいと思います。

今後の日程 (2017/7/1～2017/8/3)

行 事		行 事	
7/1 土	6/26～7/2 No.382 三浦明夫	18 火	▲岩手山 (スケッチ)
2 日	▲岩手山 (自然保護) ▲姫神山 (自然保護) ↓	19 水	7/17～7/23 No.455 大倉 博
3 月	↑	20 木	
4 火	▲八幡平 (ゆうゆう) ☆第4回常任理事会 (県連)	21 金	
5 水	7/3～7/9 No.416 福山茂和	22 土	▲七折の滝 (自然保護)
6 木		23 日	▲秋田駒ヶ岳 (名山) ▲高下岳 (山行企画) ↓
7 金		24 月	↑
8 土	☆鳥海山 (県連) ～9日	25 火	
9 日	▲早池峰山 (山行企画) ↓	26 水	◎7月例会 (勤労福祉会館) 18:45～
10 月	↑	27 木	7/24～7/30 No.385 小田嘉洋
11 火	7/10～7/16 No.433 岡 義博	28 金	
12 水	◎運営委員会 (勤労福祉会館) 18:45～	29 土	
13 木	▲焼山 (ウィーク)	30 日	▲源太ヶ岳・大深岳 (山行企画) ↓
14 金		31 月	↑
15 土	▲早池峰山 (自然保護) ▲桑原岳 ～上東山分岐 (県境) ～17日 ▲夕張岳 (個人) ～17日	8/1 火	7/31～8/6 No.279 松田幸久
16 日	▲秋田駒ヶ岳 (新人歓迎山行、山行企画) ↓	2 水	
17 月	↑	3 木	

◆「やま・ともサロン」は日程を決めず、会員の希望により随時開放します。ご希望の方はお電話ください。090-4318-5128 (No.19 中村美栄子)

◆山行管理専用アドレス: morioka_yamakan@freeml.com

今後の山行計画

* 掲載の山行企画は全会員を対象としています。

【山域/ルート】 八幡平			企画	ゆうゆう
実施日	7月4日(火)	地形図	(1/25000) 八幡平	
目的	八幡平の花を楽しむ			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪):★	
コメント	八幡平沼を周回を楽しむ			
締切り	6月26日(月)	打ち合わせ	6月27日(月) おでって2F18:30	
問合せ	連絡先:TEL 433 岡 義博 080-6542-8871			

【山域/ルート】 早池峰山 (1917 m)			企画	山行企画部
実施日	7月9日(日)	地形図	早池峰山	
目的	ハヤチネウスユキソウに出会う			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(積雪期):★	
コメント	花の百名山でもあり、多くの固有種をはじめ花々のオンパレード			
締切り	7月3日(月)	打ち合わせ	7月5日(水) 場所:おでって	
問合せ	古川孝 連絡先: 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp			

【山域/ルート】 焼山(1366m)			企画	ウイークディクラブ
実施日	7月13日(木)	地形図	八幡平 玉川温泉 (1/25000)	
目的	平日山行を楽しむ			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	御生掛温泉から入り、名残峠から周回コースに挑戦したいと思います			
締切り	7月6日(木)	打ち合わせ	7月10日(月) おでって2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先:TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 早池峰山 (1917 m)			企画	自然保護部
実施日	7月15日(土)	地形図	早池峰山	
目的	自然保護活動			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(積雪期):★★	
コメント	小田越登山口でグリーンボランティアに協力した後頂上までの鹿の食害を調査			
締切り	7月6日(木)	打ち合わせ	7月10日(月) 場所:おでつて 2F 18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先::Tel 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 桑原岳 ~ 上東山分岐			企画	県境の風
実施日	7月15日~7月17日	地形図	真湯温泉・焼石岳(1/25000)	
目的	秋田県境を歩く			
難易度	歩行:★★★	荷物:★★★	技術(残雪期):★★★	
コメント	県境の一部に登山道もあり 参加者により1泊も検討しますが、連絡ください			
締切り	7月7日(金)	打合せ	7月10日(月) オデツテ 18:30	
問合せ	NO370 本間典 連絡先::Tel653-7166 090-6782-2853 SMS 可			

【山域/ルート】 夕張岳 1668m			企画	千田勝則
実施日	7月15日(土)~17日(月)	地形図	夕張岳(1/25000)	
目的	固有種の高山植物写真撮影			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	日本二百名山、花の百名山			
締切り	7月2日(日)	打ち合わせ	7月3日(月) 18:30 オデツテ	
問合せ	千田勝則 連絡先 :Tel 019-635-0201			

【山域/ルート】 秋田駒ヶ岳 (1637 m)			企画	山行企画部
実施日	7月16日(日)	地形図	秋田駒ヶ岳	
目的	新人歓迎山行			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(積雪期):★	
コメント	新人も古株もみんないらっしゃ〜い。 ティングルマの大群落見られるかな?			
締切り	7月10日(月)	打ち合わせ	7月11日(火) 場所:おでつて	
問合せ	古川孝 連絡先: 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp			

【山域/ルート】 岩手山 2038.2m 柳沢コース			企画	心のスケッチ山行クラブ
実施日	7月18日(火)	地形図	大更・姥屋敷(1/25000)	
目的	心のスケッチ			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	景色を楽しみながら行動時間を決めて登ります			
締切り	7月6日(水)	打ち合わせ	7月10日(月) おでって 2F18:30	
問合せ	工藤敬子 連絡先::TEL 019-635-3203 FAX 可			

【山域/ルート】 七折の滝			企画	自然保護部
実施日	7月22日(土)	地形図	早池峰山(1/25000)	
目的	自然保護に関する観察会を開催する			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	自然保護の立場から早池峰山周辺でシカの生息状況など、情報収集を行いたいと思います			
締切り	7月14日(金)	打ち合わせ	7月18日(火) 18:30 おでって 2F	
問合せ	日比野 保子 連絡先::TEL019-662-3669(Fax 不可) 090-7560-3669			

【山域/ルート】 秋田駒ヶ岳右回り周回			企画	岩手の名山歩こうかい
実施日	7月23日(日)	地形図	国見温泉・秋田駒ヶ岳(1/25000)	
目的	大焼け砂の白い駒草をみる			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	国見温泉から登り、横長根から歩くことの少ない、御釜を右周回します。コースについては打合せ時最終決定します。 総距離 11km			
締切り	7月14日(金)	打ち合わせ	7月18日(月) おでって 2F 18:30	
問合せ	小田嘉洋 連絡先 : TEL 090-8781-8137 ショートメール可			

【山域/ルート】 高下岳 1322.8m			企画	山行企画部
実施日	7月23日(日)	地形図	羽後朝日・北川舟・陸中猿橋	
目的	和賀山塊を見る			
難易度	歩行:★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	高下分岐を通過しブナ林を登ります。			
締切り	7月11日(火)	打ち合わせ	7月13日(木) おでって 2F7:00	
問合せ	武田秀雄 連絡先::TEL 019-663-3777 またはメール			

【山域/ルート】 源太ヶ岳・大深岳			企画	山行企画部
実施日	7月30日(日)	地形図	松川温泉(1/25000)	
目的	お花畑を見に行きましょう。			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	松川温泉から源太が岳、大深山荘を周回します。			
締切り	7月22日(土)	打ち合わせ	7月24日(月) おでつて2F 18:30	
問合せ	熊谷久美子 連絡先:TEL 080-5228-6907			

【山域/ルート】 焼石岳			企画	山行企画部
実施日	8月6日(日)	地形図	焼石岳・石淵ダム(1/25000)	
目的	夏の花々や眺望を楽しみましょう			
難易度	歩行:★★	荷物:★	技術(無雪期):★★	
コメント	中沼からのピストンです			
締切り	7月23日(日)	打ち合わせ	7月31日(月) おでつて2F 18:30	
問合せ	高橋恵美子 連絡先:TEL 090-4046-3599			

【山域/ルート】 丹沢縦走			企画	県連
実施日	9月15日(金)~18日(月)	地形図	丹沢(1/25000)	
目的	県連合同県外山行			
難易度	歩行:★★★	荷物:★	技術(無雪期):★	
コメント	1日目 西丹沢~檜洞丸・蛭ヶ岳山荘泊 2日目 蛭ヶ岳~丹沢山・塔の岳・鍋割山~箱根温泉山荘泊 3日目 金時山 参加費¥48,000 定員30人			
締切り	7月30日(日)	打ち合わせ	後日	
問合せ	連絡先: 千田勝則TEL019-635-0201 渡邊健治 090-9634-2257			

あかげら7月号に掲載する山行計画は、書面、メールにて、山行企画部
No.234 古川 孝 090-8923-3120(ショートメール可) mountfuru2@yahoo.co.jp
 までお願いします。締め切りは7月9日(日)です。
 なお、フォーマットは会員専用HP左下の様式ダウンロードを御利用ください。

2017年度 第3回運営委員会報告

(出席者数:15/23名)

2017.6.14(水)18:45～ 勤労福祉会館

渡邊	三浦(明)	中村(美)	石澤	小田(嘉)	高橋(恵)	中村(数)	
松田(幸)	千田	古川	山田	小川	渡部(彩)	岡(義)	大倉

【進行：三浦(明) 記録：中村(美)】

1 会長あいさつ

初級登山教室を実施している。どんどん新しいことにチャレンジしたい。

2 報告事項・確認事項

(1) 現在の組織状況 (6月14日現在)

会員数 98名 (男 52名/女 46名) 登山時報 51部

会友退会者 No, 47 橋本久

(2) 各専門部等の取組状況

①山行管理委員会…この1か月ヒヤリ・ハットなし

②教育遭対部…6/4(日)登山靴での岩登り訓練雨のため中止。7/8～9 ツエルト・ビバーク訓練

③会報部…* 6/3(土)14～17時 「あかげら」全体編集・しおり付け勉強会実施。参加者は、計6名(会報部5+その他1)でした。

* あかげらの発行方法に関するアンケート…作成中。

* あかげらの URL 配信について6月以降は、「あかげら」がホームページ・あかげら pdf 版へ掲載された事のお知らせとして、メールアドレスのある会員全員への配信を考えています。

④自然保護部…*7月2日(日)清掃登山について(別記参照)

*7月22(土)自然観察会、鶏頭七折の滝

⑤県連理事会…別記参照

3 協議事項

① 組織部…納山祭の会場について協議

② 教育遭対部の、山靴での岩登り訓練中止になったが、良い企画なので他の日にもう一度企画してやってほしい。部で日程を検討する。

③ 8月11日(金)「山の日」に県連では特別企画はない。山行企画部で検討してほしい。

④ 登山教室受講者や新入会員への働きかけについて…どのような山行を希望しているかを聞き、企画部やグループでも誘う、1対1の繋がりをもって声掛けをするなど今後も検討することに。

⑤ 例会時の駐車場について…通常は1台のみ可(事務局の荷物のため)。

⑥ 事務局…会報交換している他会の会報を、例会時に閲覧したい・・・OK

4 例会における司会・会場片付担当表

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月／10月	教育遭対部	5月／11月	山行企画部	6月／12月	会報部
7月／1月	組織部	8月／2月	事務局	9月／3月	自然保護部

◆当面の予定

7月2日(日) 清掃登山(岩手山・姫神山)	7月12日(水) 運営委員会(第4回)
7月4日(火) 県連理事会	7月26日(水) 7月例会

次回運営委員会 7月12日(水) 18:45~

事務局から

☆ 会員動向 (6/17現在)

会員数98名 (男52、女46) 登山時報51部
 退会者 会友No, 47 橋本 久さん

☆ 名簿内容の変更について

No, 35 石原房子さん 遭対基金 5口へ
 No, 99 高橋尚子さん // 5口へ
 会友No, 410 中松裕子さん 住所の変更(知りたい方は事務局長まで)

☆ 全国連から「全国ハイキング学校・実施要項」が来ています。

日程：9/16(土)~18(月)
 会場：越後湯沢
 参加費：20,000円
 目的は、活躍する人材の育成を図ることと中間日には上越の山の登山を楽しむ、親睦を図るため。
 詳細と申込書は事務局にありますので、希望者はどうぞ。

☆ 例会の司会と後片づけ

担当月	担当部	担当月	担当部	担当月	担当部
4月／10月	教育遭対部	5月／11月	山行企画部	6月／12月	会報部
7月／1月	組織部	8月／2月	事務局	9月／3月	自然保護部

7月例会は 7月26日(水) 18:45~

2017年度 第3回県連理事会報告

2017.6.6 (火) 19:00~20:30

花巻市学園都市会館 2F 会議室

出席：千田勝利、村上明枝 (文責)

1 理事長挨拶

今年度の事業は、雪山交流会と自然保護集会在終了、これからが事業の目白押しとなる。12回目となる合同遠征山行もしっかり対応していきたい。

2 報告事項

- (1) 第34回岩手県登山者自然保護集会 (5月20日)
 - ・ 16名参加 (盛岡7、花巻2、生協2、アウトドア5)
 - ・ 白藤氏の講演：楽しい話だったが、テーマの大松倉沢の地熱発電開発構について、もっと話が聞きたかった。
 - ・ 参加者数の観点からも開催時期の検討が必要
- (2) その他
 - ・ 日本山岳自然遺産 (ヤマケイ助成金 250万円) 8月末締切り

3 協議事項

- (1) 県外合同遠征山行について (12回目)
 - ・ 9月15日 (金) ~18日 (月) 神奈川県 丹沢山塊
 - ・ 30名以上で実施、経費 48,000円を事前徴収
- (2) 新特別基金全国担当者会議 (7月1・2日) →津村理事出席方向で調整
- (3) 教育・遭対担当者会議 (6月17日 9:00~ 西部公民館)
 - ・ 目的：諸事故事例を研究して次回の訓練に反映
 - ・ 内容：各会のヒヤリハット、全国連から取り寄せた事故事例
 - ※ 11月12日のスキルアップ講師は日山協遭対常任委員 恵 秀彦氏で検討
- (4) 東北ブロック沢救助搬出訓練 (宮城県連主管 6月24日・25日)
 - ・ RAMから7-8人、阿部事務局長参加
- (5) 奥羽ブロック協議会交流山行 (6月24日・25日 赤倉コースから酸ヶ湯への縦走)
宿泊：みちのく深沢温泉 青森市駒込深沢650 ☎017-738-1464
料金 7500円/1人 夕食、朝食、おにぎり2個
- (6) 奥羽・東北ブロック交流登山 (7月8日 鳥海山)
集合場所 八島口 祓川 16時受付。
9日登山開始7時
- (7) 山の日制定イベントについて (7月1日 岩手山)
連携開催について名義使用許諾した。津村理事から県山協へ送付
- (8) お花鑑賞山行 (6月14日 薬師岳)
現在24名参加予定
- (9) その他
 - ・ 9月9日・10日 RAMでセルフレスキュー講座開催予定 (ビバーク訓練)

別紙企画書(案)を
参考に参加ご検討く
ださい

県連合同県外山行企画(案)～丹沢を巡る～

丹沢の主稜線の五山を巡る+最終日金時山

①檜洞丸②蛭ヶ岳③丹沢山④塔ノ岳⑤鍋割山 + ⑥金時山

※最終日金時山パスの場合 →

星の王子様ミュージアム(¥1,600 シルバー¥1,100) などもあります。

9月15日(金)	CT	時刻
まつぞの出發		19:00
黒石野・緑が丘		19:10
天昌寺		19:30
盛岡IC		19:45
花巻IC	0:20	20:05
水沢IC	0:25	20:30
平泉IC	0:20	20:50

東北道⇒圏央道⇒東名:大井松田IC

<基本案>

9月16日(土)	CT	時刻
西丹沢自然教室		7:00
檜洞丸1601m	3:30	10:30
休憩	0:30	11:00
臼(ブナ)ヶ岳	1:50	12:20
休憩	0:30	12:50
蛭ノ岳1673m	1:40	14:30
蛭が岳山荘泊り		14:30

2日目累計歩行時間 7:00

9月17日(日)	CT	時刻
蛭が岳山荘発		7:00
丹沢山1567m	1:30	8:30
塔ノ岳1491m	1:30	10:00
休憩	0:30	10:30
鍋割山1273m	1:25	11:55
鍋割山荘(鍋焼きうどん)	0:45	12:40
大倉登山口	2:35	13:05
箱根温泉山荘なかむら着	1:20	14:25

3日目累計歩行時間 7:00

9月18日(月)	CT	時刻
宿舎出發		7:00
金時神社入口	0:30	7:30
金時山1212m	1:30	9:00
休憩	0:30	9:30
金時神社入口※ピストン	0:45	10:15
東名:御殿場IC	0:20	10:35
平泉IC		18:35
水沢IC		18:55
花巻IC		19:20
盛岡IC		19:40
天昌寺		19:50
黒石野・緑が丘		20:05
まつぞの	9:00	19:15

参加を希望される方は

7月30日(日)

までに 県連担当

- ・渡邊健治 or
 - ・千田勝則 or
 - ・村上明枝 まで
- ご連絡ください。

専門部報告

●山行管理委員会

■報告書の提出について

4月以降の報告書の提出は、実施山行80件中42件(52.5%)となっています。報告書は、自らの山行を振り返り、次のステップアップに生かすだけでなく、山行情報や事故・ヒヤリハットを会全体で共有し、山行企画や事故の未然防止に生かすためのものです。トレーニングで事故等がなかった場合を除き、報告書の提出は義務となっていますので、山行終了後、できるだけ速やかに提出するようお願いします。(規定では10日以内です。)

事故・ヒヤリハットがあった場合は、「特記事項」欄に記載するようお願いします。会の仲間が同じ失敗をしないよう情報共有することは山岳会の存在価値そのものです。失敗は恥ではなく、それを情報共有することでプラスに生かす貴重な宝です。下記の分類を参考に、ヒヤリハットのどんな小さなことでも構いませんので記載をお願いします。

〔報告書「特記事項」の分類〕

<input type="checkbox"/> 事故	死亡・ケガ・発病・下山遅れ(19時超)・交通事故・盗難・その他
<input type="checkbox"/> ヒヤリハット	滑落・転落・転倒・道迷い・バテ(軽度の熱中症、低体温症含む)・装備不足・その他
<input type="checkbox"/> 参考情報	反省点・留意点・シカ情報・その他

●教育遭対部

ツェルト・ビバーク訓練

ツェルトを張って実際にその中で寝てみます。

他、道具点検、ロープワーク、ザック搬送を予定。

日時： 7/8～9(土～日) 14:30～翌12:00頃まで

場所： 滝沢市相の沢キャンプ場(鞍掛山登山口)

申し込み： 461 中村 篤 090-6455-6180(SMS可)

wwkhh632@yahoo.co.jp

締め切り： 7/3

持ち物：
・普段持っていく個人装備
・ツェルト、寝具、食事×2は各自で用意
(食事の量や寝具の準備は任意。ビバーク体験をしたければ準備する必要はありません。)

※申し込み時は氏名と会員番号をお願いします

● 会報部

「あかげらは」のメール配信に関して

5月からURL配信となっておりますが、平成29年度の新名簿が発行されましたので、今月からメールアドレスのある会員全員への「あかげらPDF版がホームページへ掲載された事のお知らせメール」として配信します。

4月まで行っていたPDF添付ファイルによるメール配信(平成26年6月開始)は例会前日の配信でしたが、今後は例会数日前の配信となりますので事前にあかげらの内容を確認できるようになります。

原稿のお願い

7月号の原稿締め切り

◎ 7月8日(土)

※手書き原稿の場合は、2日前までとします!

原・稿・の・基・準

■サイズ：B5

■本文枠：幅14cm・縦22cm以内

又は 余白：上・下・右・左20mm

■本文のフォント：10～12ポイント、明朝体、またはゴシック体で

※編集作業中に文字化けする可能性がありますので、フォントは守って下さい

■山行報告：原則として2ページ(写真も2枚程度)とする。

ただし、泊まり山行、県外・長期・海外山行などはその限りではない。

エッセー等：原則として2ページとする。

□ 送り先

◎手書き原稿(郵送)

会員No.357 渡部 彩子

〒020-0632 滝沢市牧野林1047-66

Tel 090-7528-1968

◎メール原稿

会員No.301 久保 加世子

メールアドレス k-kubo@mba.nifty.ne.jp

行ってきました!

5月15日～6月18日現在] その1

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
1	5月17日	南昌山	前倉コース	トレーニング	L吉田(菊)〔会員外〕1名	1	個人
2	5月17日	源太ヶ岳	樹海ライン～源太ヶ岳～中倉山～樹海ライン	トレーニング	L福山	1	個人
3	5月17日 ～5月18日	鳥海山	祓川～七高山往復	雄大な雪渓歩き	L裏地・S佐々木(テ)〔会員外〕2名	2	個人
4	5月19日 ～5月22日	開聞岳、霧島山(韓国岳)、高千穂峰	ふれあい公園～開聞岳往復、大浪池口～韓国岳往復、高千穂河原～高千穂峰往復	深山キリシマの咲く九州の名峰	加藤(桂) ※コープトラベル企画	1	ツアー会社
5	5月20日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L舟越	1	個人
6	5月21日	鳥海山	祓川～七高山往復	鳥海山で滑り納め	L久保・S松田(幸)・松田(希)〔会員外〕1名	3	個人
7	5月21日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原〔会員外〕1名	1	個人
8	5月21日	白木峠、南郷岳	越中畑登山口～白木峠往復、五合目登山口～南郷岳往復	登山道に咲く花々を訪ねる	L千田(勝)・S武田(秀)・熊谷(久)・三戸	4	個人
9	5月21日	東根山(928.4m)	ラ・フランスコース	トレーニング	L高橋(恵)・S太田代・岡(義)	3	個人
10	5月27日	早池峰	小田越～早池峰山頂～剣ヶ峰往復～小田越	春の早池峰山を登る	L舟越	1	個人
11	5月27日	岩手山(八合目まで)	柳沢コース	トレーニング	L杉澤	1	個人
12	5月28日	徳仙丈山、大森山	本吉町口～徳仙丈山往復、林道浮野線口～大森山往復	つづじ鑑賞	L千田(勝)・S工藤(敏)・中村(美)・村上・日比野・熊谷(久)・菊地(広)・府金(志)・小野(由)	9	会
13	5月28日	岩手山	柳沢コース	岩手山春山体験	L新田・S遠藤(千)・三戸・高橋(敏)	4	個人
14	5月28日	秋田県境	県境大森トンネルから南(東山方面)	岩手/秋田県境を辿る(県境区間7.1km)	L小田(嘉)・S熊谷(久)・S中村(篤)・高橋(陽)・小田(春)・大倉	6	会
15	5月28日	鞍掛山	相ノ沢コース	トレーニング	L久保	1	個人
16	5月28日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L石原	1	個人
17	5月30日	岩手山	御神坂コース(大滝展望台まで)	岩手山の大滝を見に行く。	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
18	6月2日 ～6月4日	日光白根山、皇海山	菅沼口～皇橋コース～日光白根山、菅沼口～皇海山往復	日本百名山2座を登る	加藤(桂)〔会員外〕7名 ※生協山の会企画	1	他団体
19	6月4日	姫神山	一本杉コース	トレーニング	L松田(希)	1	個人
20	6月6日	七時雨山	田代平コース	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代・小田(春)	4	個人
21	6月6日	岩手山	柳沢コース	シラネアオイを見に行く	L吉田(菊)〔会員外〕2名	1	個人
22	6月5日	姫神山	田代コース	トレーニング	L川村(雅)	1	個人
23	6月10日	岩泉・ひょうたんケイブ	若葉エリア他	災害後の下見とクライミング	L松田(幸)・松田(希)	2	個人
24	6月11日	岩手山	柳沢コース	トレーニング	L久保・石川	2	個人
25	6月11日	五葉山	黒岩コース～山頂～松山コース	四季の山グループの力を・・・	L級木・S工藤(敏)・熊谷(久)・府金(志)	4	会
26	6月11日	鞍掛山	相ノ沢コース(右回り)	初級登山教室(実地①)	【総括】L渡邊・S福山 【A班】L中村(数)・S吉田(成)・高橋(陽)・高橋(豊)・高橋(英)〔会員外〕5名 【B班】L中村(美)・S遠藤(千)・小川(優)・高橋(敏)〔会員外〕3名	11	会
27	6月13日	早池峰(1,917m)	小田越コース	トレーニング	L岡(義)・S高橋(恵)・太田代	3	個人
28	6月14日	三ツ石山	網張奥産道コース	トレーニング	L吉田(菊)〔会員外〕2名	1	個人

行ってきました!

〔5月15日～6月18日現在〕 その2

No.	月日	山域	ルート	目的	参加者名	会	分類
29	6月14日	茶臼岳	茶臼口コース	心のスケッチ	L 工藤(敬)・S 級木・中村(美)・高橋(英)・北田	5	会
30	6月17日	三ツ石山 (1,466m)	網張スキー場～リフト～犬倉～三ツ石山往復	山頂からの眺望を眺めましょう	L 岡(義)・S 高橋(恵)・太田代・三澤	4	会
31	6月17日	秋田駒ヶ岳	秋田八合目～頂上～横岳～焼け森～八合目	高山植物鑑賞	L 吉田(菊)〔会員外〕3名	1	個人
32	6月17日	焼山	御所掛温泉～焼山～玉川温泉	行事のお手伝い	杉澤 ※他団体行事への参加	1	他団体
33	6月17日	栗木ヶ原湿原	地熱発電所～湿原往復	ひっそりと静まり返った神秘的な高層湿原	L 本間(典)・S 加藤(桂)・大倉・日比野	4	個人
34	6月17日	早池峰	小田越コース	早池峰山グリーンボランティア活動	L L 級木・S 北田・日比野・工藤(敬)	3	個人
35	6月17日～6月18日	日光白根山、男体山	二荒山神社～男体山往復、丸沼高原～日光白根山周回コース	県外山行	L 山田(潔)・S 畑中	2	個人
36	6月18日	鶏頭山	岳～七折の滝～鶏頭山～岳	トレーニング	L 舟越	1	個人
37	6月18日	三ツ石山	松川温泉コース	机上で学んだことを実地体験で理解を深める	【総括】 L 渡邊(健)・S 古川・福山 【A班】 L 中村(数)・S 吉田(成)・S 久保・高橋(陽)・杉澤・小原(耕)〔会員外〕6名 【B班】 L 松田(幸)・S 松田(希)・石原・桜庭・小川(優)・高	16	会

注：これは、あくまで速報的なものですので、掲載もれや誤り等がある場合はご容赦ください

山行報★告



毛無森

日程：2017年5月7日

No.421 小田春美

天候：曇り一時強風

メンバー：CL 本間、SL 中村（数）、工藤、日比野、加藤、高橋、小田（嘉）、小田（春）

コースタイム：盛岡 5:00 → 折会沢林道駐車場 6:15 → 林道終点 7:15/25 → P 916m 7:50 → 2/25 到達点 9:05 → P 1176m 10:20 → 毛無森山頂 12:35/13:00 → 2/25 到達点 14:45 → P 914.6m 15:30 → 林道終点 15:55 → 駐車場 16:45

12時35分、三角点を確認し少し離れた場所に「毛無森」の標識を目にすると工藤さんが感に堪えない様子で「バンザイ」と両手を上げた。みんなも負けじと大きな声を上げた。「ばんざい、萬歳！」と。

長かった此処までの距離と時間、そして藪との闘い。全員、万感の思いで周囲の山々を見渡した。



3日前に桑原岳から大薊（おおあざみ）を目指して往復20kmを歩きテント泊をした疲れがまだ残っている。疲労度と天候から予定していた6、7日のテント泊の山行を中止。6日を休養日とし2月25日に登頂できなかった毛無森へ再挑戦することにした。

朝5時、都南大橋を出発。私は何とか集合時間に間に合うように起きてきたというのに「いつも朝食を済ませ、新聞を読んでから家を出る」という某メンバーには脱帽。

時折青空は覗いたものの、天気予報どおりの曇り空。風は強く、ポツリと落ちてきそうな気配さえある。出発前CLより本日の山行についての心構えを申し渡される。

かなり雪も融けたので当初の計画を変更し嫁ヶ淵からの林道を車の置ける所まで入る。これでかなり距離を稼ぐことができた。

そこから林道終点まで歩く間に何やら地鳴りのような音がした。

「クマだ！ 威嚇している」とS L。きゃあーともつかない声が出る。笛を吹き、熊鈴を鳴らし私たちも対抗。県境を歩いていると時々S Lが「クマがいる」と言うが、身近に気配を実感したのは初めてだ。後でC Lに聞いたが、藪をかき分け熊が移動する音がしたという。

林道終点で工藤さんが立派な鹿の角を見つけた。下山時に収納することにして急斜面に取りつく。急登だが笹藪はさほどではない。C Lが適宜目印テープを付けながら進む。

9時過ぎには前回到達点に着く。2月は深雪に負けたけれど、今回は手慣れた藪だ。期待に胸が弾む。地形図の最初の岩場は慎重に左に迂回、二度目は難なく通過する。

高度が高くなるにつれ藪が濃くなってきた。灌木が多くなり自分の足がどこにあるのか判らない。ストックやピッケルを藪にひっかけ、両手両足でもがく。やっと100mほどの雪渓に一息つく。

右手には薬師岳そして鶏頭から早池峰に続く峰々がずっと見えている。

「おーい、私達はここにいるよお〜」誰か私たちに気付いてくれないかな、と話しながら藪をこぐ。

鉦で藪を切り開いてくれるS Lは疲れ切っている。二番手の鉦係はC Lだ。あと100m位かというところで残りの男性が素手で入り込む。S Lが後に続く。格闘すること数十分。「出たよー！」の声に心から安堵する。

盛岡市で一番高い場所に漸くたどり着いた瞬間だった。

日比野さんと加藤さんは2回目の登頂。砂子沢沿いに登った十年前とはずいぶん印象が異なるようだ。他のメンバーは初めて。5回チャレンジした大感激のS L、4回目の工藤さん。平らで草丈も低い山頂で「頂上はこうなっているんだ。向かいの山からはわからないよね」と陽子さん。鶏頭山へ続くのか踏み跡もある。

曇り空とはいえ見晴らしも良く、何とも言えぬおいしい昼食をとる。『前回のメンバーも一緒だったら、もっとよかったなあ』と思いながら。

帰路は目印テープを探しながら、山頂付近は倒けつ転びつ、急坂になると足元に気を付けながら下る。途中メンバーの靴底が剥がれるというハプニングもあったが、陽子さんの手際のよい処置で無事下山。

今回頂上を踏めたのは、S Lの「以前だったら頂上前の藪で撤退していた。鉦の力はすごい」と、C Lの「予想通りの大変な山行でしたが、県境Gだから頂上を踏めたと思います」。そして皆の毛無森への恋心。

これからは早池峰山塊に登る度に、今日の軌跡をたどりながら親しみを込めて毛無森を眺めることだろう。

数日後、我が家の靴箱の上に鹿の角を発見！ 驚く私に夫はただニヤリとするばかりだった。



同期山行・諏訪沢森他 2 山

会員No.369 齋藤 良三

期 日 平成 29 年 5 月 8 日(日)
天 候 小雨のち晴
参加者 CL : 本間 典 SL : 太田代 恵久子 装備 : 吉田 菊男
会計 : 府金 志磨子 記録 : 齋藤 良三 (5 名)

コースタイム

都南大橋駐車場発 9:00～諏訪沢森霊苑登山口 9:45～諏訪沢森山頂 (317 m) 10:25～山頂発 10:45～霊苑登山口着 11:15～向山森林公園駐車場 11:25～向山山頂(309m)11:40～権現様展望台 12:00(昼食)展望台発 13:20～向山森林公園駐車場 13:35～都南大橋駐車場着 14:30

本日の山行参加の 5 名は、平成 20 年に盛岡山友会に加入した仲間です。今年で入会 10 年目になりました。

入会した時は 7 名だったのですが、残念ながら 2 名が途中退会しています。

今回の参考は、年間 40～50 回も山登りしている大ベテラン本間 典さんが、間もなく 80 才になろうとする小生や吉田菊男さんのことを考えて、大迫町の低山で計画してくれました。

都南大橋駐車場に集合した時点では小雨だったのですが、参加者 5 名の日頃の行いを天の神様が認めてくれたのか、山に登る頃にはすっかり晴天となりました。

一つ目の諏訪沢森は登山者が少ないためか山道があまり整備されておらず、藪こぎに近い状態でした。

40 分ほどで山頂に到着、山の安全を見守る神社の拝殿が建立されておりました。下山後二つ目の山に向かうため、向山森林公園駐車場まで車で移動しました。駐車場から向山(309m)までは階段を使ったりして 15 分で到着です。

そこから権現様展望台までは良く整備された山道が続き、12 時に到着しました。国道 396 号線で大迫町を通過するとき、山手に「権現様展望台」目に入りますが、大迫町長が平成 10 年 10 月 10 日に建立、「神楽とワインの里」と大きく書かれています。

展望台の下部にテーブルがあり、食事ができるようになっていました。

持参したガスバーナーを使い太田代さんと府金さんが調理、肉・野菜たっぷりの水とん汁を作ってくれました。

ほや煮込みご飯と漬け物も美味しくいただきました。

さすがお二人ともベテラン主婦です。手さばきもよく、味もばっちりでした。愛情のこもったおいしいご飯を毎日食べられるお二人の旦那さんが羨ましかったです。

食後は府金さん手作りガトーショコラと入れ立てのコーヒーを頂きました。

お腹一杯で展望台を出発したのが 13 時 20 分、駐車場から車で国道 396 号線に入り、途中、産直センターあかさわで果物等を買ひ、出発地点の都南大橋に戻ったのが 14 時 30 分でした。

今年は 10 年目でもあり、秋にもう一回同期山行しましょうということで解散しました。楽しい一日でした。



“<イライラそれとも怒る?>”

生きていれば、イラつくことがある。イライラがすぎると怒りになる。イライラとか怒りはない方がいい。イラついたり怒ったりして気分がいいはずがない。と、分かっている。でも、イラついてしまうから困る。あるお坊さんが娘を車に乗せて走っていた。前の車がのろのろ走っている。「早くいけばいいのに」と、ついぼやいてしまったようだ。すると幼い娘が「前の車の運転手さん、なにかあったんじゃないかな、大丈夫かな」*といったそうです。さすがに、禅の修行をしているお坊さんです。はっと気づいた。人さまに生き方を教えなければならないのに、なんという自分だ、と。幼い娘に教えられたという話。

前の車がのろのろ走っている。追い越しができない車線だ。このままでは会社に遅れるとか、早く帰れない、などと思うとイラつく。むしろイライラしない方がおかしい。私なども車を運転すると特にイライラする率が高くなる。必ずのろのろの車に出会うから。前に車があれば、自分の都合で運転できない。前の車が邪魔すると考えるからよけいイラつく。制限時速 50km の道路で、50km で走っている車が前にいても、しょうがないか、規則通りだから我慢する。もっともどの車もスピード違反内の 60km 近くで走るのが普通。こんなとき時速 40km のとろとろ運転に出会うと頭に来てしまう。もっとイラつくのは、片道二車線なのに、両車線とも 40km ぐらいで仲良く並走する車にぶつかることがある。こういう仲良しは困る。どちらかがスピードを出して、追い越し用の車線を作るべきだと思う。でも、ゆっくり走って悪いという法律はないから、どうしようもない。どうしようもないから、よけいイラつく。

この世に起るありとあらゆる出来事は、人の心が生み出すものだという。そんな馬鹿な。のろのろの車が前にいなければ、おれはイラつかないのだ。自分の心をイラつかせたのは明らかに前の車なのだ。と考えれば、イラつきの原因は自分の外側にあり、自分の心が生み出したのではない。これほど当たり前のことはないだろう。

と置いていたら、いやそうじゃない人もいるときた。とろとろ車が前にいてもイラつかないというのだ。そういえば、けっこうイラつく自分でも、時間に余裕がある時とか、どうせ信号で止められるのだからと思っているときは、トロトロ車が前にいても気に障らない。心の持ちようで、いらついたり、しなかったりする。となると、自分を取り巻く環境にどう反応するかという心構えの問題になるんじゃないか。自然界が惹き起こす、嵐や地震にイラつく人がいない。イラつくのは他人という人間といる時である。自然界が惹き起こす出来事と違って、人が惹き起こした出来事は人の手で抑えることができる。抑えられないのは自分の力のなさであると思うとイライラする。相手を支配しようとする心が葛藤を生み出す。支配しようとしなない心はイライラしない。この世を良くも悪くもするのにも心しだいだとなる。

禅の修行をしてきた坊さんは、娘の一言で自分の心がイライラを生み出したことをすぐに気づいた。お坊さんなのだから、気付いて当然だ。が、坊さんも人間だからイラつくこともある。修羅場を作るのも、極楽を作るのも、すべて心が生み出すのだ。たしかに、相手をおもいやる心があればイラつくこともない。イラつけば修羅場になるが、その修羅場

は自分の心が生み出すのだ。

自分の外にある環境がいらつきの原因だと思い込みがひどくなると、他人（ひと）を見たら泥棒と思えとなる。私も自分が物忘れをしたのに、盗まれたんじゃないか思い込むことがあった。こうなると、周りのひとがすべて犯人に見えてしまう。疑っている最中は鬼の心になっている。いわば疑心暗鬼なのだ。実際は自分がもの忘れしていたことが分かる。な～んだ、他人を疑って損したとなる。鬼の心は疑いで凝り固まっている。この塊を柔らかくするのが難しい。心の憂さを晴らすには疑心暗鬼に二度とならなければよい。鬼は心が惹き起こす症状なのだ。ところが、一度あることは二度ある。何度もくり返すから問題になる。こんな自分に嫌気をさした時の救いとして酒がある。疑うことを麻痺させるのだ。酔っているときだけほんとうの自分、つまり人間に戻る。酔いがさめると元の暗鬼になる。いつかは、人の心に戻れなくなる。お酒の飲み過ぎで肝硬変になるようなもの。人としてこの世に生まれても、鬼として生きる。これじゃ、人として生きたことにならない。でも、生きていれば、イラつく場面に出くわさないなんて無理だ。となるとイラつかない心を持つように修行すべきなのだろうか。

では悟りを開いて、一切イラつくことなく人生を過ごすのがいいのか。穏やかに過ごすように心を抑えるのがいいのだろうか。

世の中とは、善悪、清濁が混ざっている。イラつきよりもっと激しい、怒りや悲しみに襲われる場面もある。喜怒哀楽の感情を爆発させるのは人の心だ。これは自然の感情だからどうしようもない。イラつきは自分の心の使い方による。自己責任の範囲内だ。だが、イラつきより激しい心の動き、怒りや哀しみも同じように心構え次第でコントロールできるのだろうか。目の前でどんな酷いことが行われても、怒（いか）らず、見過す、なんてできない話だ。怒りを覚えて、その悪にどう対処すべきかを考えるのが自然だ。

怒りは善悪の問題が絡んでいる。人としてあるまじき行為は悪、よき行為が善。ところがこの善悪を決めるのが人によって違う。善悪を取り違えて、怒り狂う人もいる。正義のためには、他人の命を奪っても仕方ないとまでなる。弱者の場合は、そのような思い違いをしても、実行力が伴わない。被害は最小となる。ところが、権力者とか武器を持つ者が思い違いをすると、その怒り（と思いついでいるというべき正義感）がさらなる悪を招いてしまう。

イラつきも、怒りも自分が正しいという思いが生み出すものだ。正しいかどうか相手の立場に立てばイラつきは自然消滅する。損得勘定から生まれる正義感は悪となる。損得から離れた人の道とは何かを考える。その後、人としてあるまじき行為と判断すれば、おおいに怒るべしとなる。このようなとき、イラつかないように、怒りを抑え、他人（ひと）ごとにしてしまうという方法もある。それでは、怒りなき心は手に入れても、人の<ころ>を捨てることになるだろう。

いかりののがさまた青さ 四月の気層のひかりの底を
唾（つばき）し はぎしりゆききする
おれはひとりの修羅なのだ（宮沢賢治「春と修羅」）

不正や悪がはびこる世を許せないなら、「はぎしりゆききする」修羅となるほかないだろう。

*永井宗直『禅の坊さんもぼやく。そして学ぶ』角川書店。

交流の広場

山岳写真家の白籬史朗さんの「山と写真 わが青春」(岩波ジュニア新書)のなかで、私が同感した内容を記載させていただきます。白籬さんが1952年の8月に南アルプスの北岳を初めて鳳凰三山から見た時の描写です。

「登り切った正面には、私がいままで見たことも想像したこともない壮大な山岳がでんとたちはだかっていました。いま私が立っている2700メートルの場所よりも、はるかに高いその山頂は、まだ夜の明け切っていない深い深い谷底に山脚をにじませ、まるで空間に浮かんでいるかのようにでしたが、そのくせ、そのどっぴかりと途方もない大きさを私の魂を中天に飛ばしてしまっただけです。その山が北岳でした。高いも道理、北岳は富士山に次ぐ日本第二の高峰として、日本アルプスに君臨するものでした。この瞬間、私の心はこのすさまじいばかりの生命力にあふれた北岳に吸いとられてしまったのです。このときが、私にとって三度目の自然一山との出会い、というか、いままでのように単なるハイキングとか、山に登り、自然に親しむといった趣味的なものから脱却して、一生を山に生きる、という心の目覚めをもたらした瞬間でした。しかし、この山への新しい目覚めは、当然来たるべくして来た、というようにも考えられます。私の山への目覚めの過程は、道志や大菩薩の端山である、あのふるさとの低山にはじまり、それらの

山々を経めぐったのち、突如としてこの南アルプスにいたったわけですが、山の高さこそちがえ、私のふるさとの低山と、この南アルプスとはどこか一種の共通点があるように思えるのです。アルプスという名詞がつくと、それはいかにも峨々として、雲上に高くそびえる山岳の印象があります。(中略)ヨーロッパ・アルプスにくらべると日本アルプスは高度も低く、山容もぐっとおとなしくなります。夏には雪もほとんどなくなってしまいます。それでも北アルプスには、まだアルペンのといわれる要素がたくさんありますが、私に山への目覚めをもたらした南アルプスには、雪のある冬はともかく、夏にはそうしたアルペンの要素はほとんどなくなり、一見すると鈍重な野暮ったさだけが目につきます。そうした鈍重な野暮ったさの印象は、私のふるさとの低山の印象とまったく同一のものでした。そのため、幼いときから親しんだ低山たちの印象が私の潜在意識として残り、同質の山岳と相対したとき共鳴したのかも知れません。さらにそれとともに、いずれ私はこの南アルプスの盟主である北岳へたどりつくであろう、ひとつの道を歩んでいた、ということもいえるのです。」
このような内容ですが、私自身の幼いころの地元の山の印象は、同じように野暮ったさであり、自分の山への思いの原点です。
(菊池)

— 鳥海山 —

ここ数年、鳥海山でのスキーシーズン納めが恒例となっています。

GW に祇川登山口への道路が通れるようになると、天気図を見ながらお天気の良さそうな時に計画をたて、向かいます。

春の鳥海山は山の雪の白と麓の木々の緑のコントラストがキレイです。
雄大な景色を眺めるのも楽しみです。

No. 301 久保 加世子

あかげら 第343号

2017年6月28日

発行者 盛岡山友会 会長 渡邊健治

編集責任者 盛岡山友会 会報部長 辰巳和司

印刷／製本 (有)小松茂印刷所

盛岡市大沢川原2-5-37

019-623-6073

■盛岡山友会のホームページ■

http://www.geocities.jp/morioka_sanyukai/

～里山からヒマラヤまで安く、楽しく、安全に！～